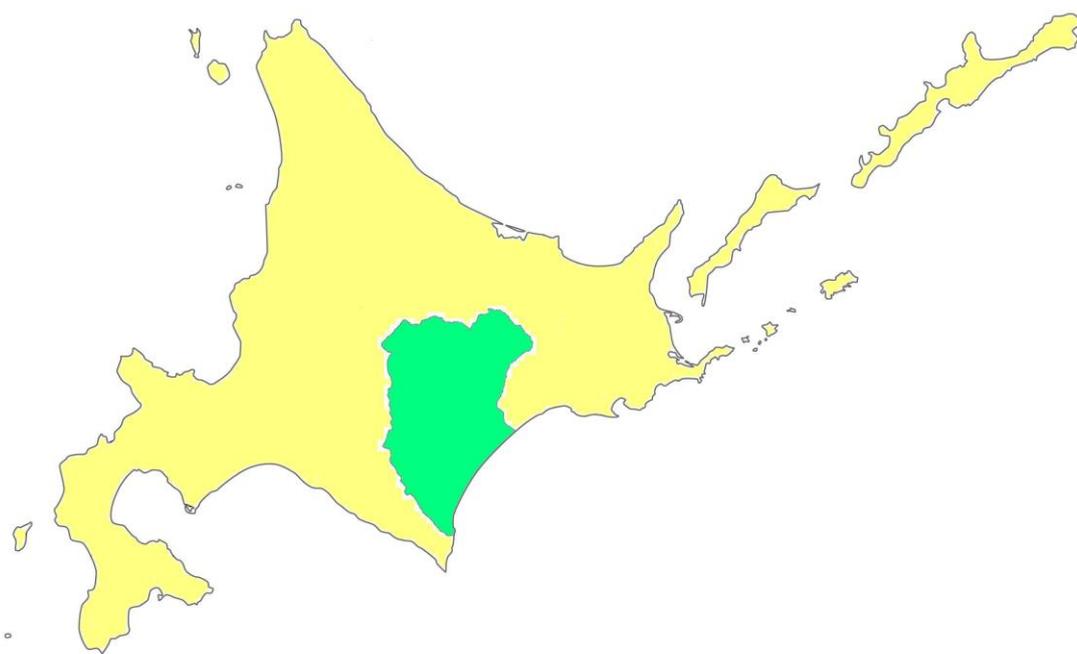


# とがち経済情報

令和6年11月発行  
(令和6年7~9月)



財務省 北海道財務局  
帯広財務事務所



URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/obihiro/>  
希望ある未来へ 地域と歩む 北海道財務局

# 目 次

	ページ
十勝経済の北海道経済に占める位置 .....	1
主要経済指標（前年同月比等）の動向 .....	2
と  か  ち  経  済  の  概  況  .....	3
1. 生  乳  生  産  .....	4
2. 公  共  事  業  .....	5
3. 住  宅  建  設  .....	6
4. 個  人  消  費  .....	7
5. 雇  用  情  勢  .....	8
6. 観  光  .....	9
7. 金  融  .....	10
8. 企  業  倒  産  .....	11
企業・関係団体の生の声.....	12

## 【利用上の注意】

- ・数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- ・公表数値は、推計方法の変更等により、過去に遡って改訂される場合がある。
- ・符号の用法は次のとおりである。  
「0」～単位未満 「－」～該当数値なし 「p」～速報数値 「r」～改定数値

## 十勝経済の北海道経済に占める位置

区 分	単位	十勝管内	全 道	全道比	摘 要
1. 面積・人口					
・ 面 積	km <sup>2</sup>	<u>10,832</u>	<u>83,422</u>	<u>13.0%</u>	国土地理院(6.7.1) 住民基本台帳(6.9末)
・ 人 口	人	<u>322,035</u>	<u>5,054,468</u>	<u>6.4%</u>	
・ 人 口 密 度	人/km <sup>2</sup>	<u>29.7</u>	<u>60.6</u>	—	
2. 経 済 構 造					
・ 就 業 者 数	人	159,851	2,347,270	6.8%	国勢調査(令和2年)
第一次産業	〃	22,932	156,298	14.7%	
第二次産業	〃	26,455	387,947	6.8%	
第三次産業	〃	104,628	1,738,586	6.0%	
・ 事 業 所 数	事業所	15,741	216,124	7.3%	経済センサスー活動調査確報(令和3年)
3. 農 業					
・ 農家(販売農家)戸数	戸	4,830	32,232	15.0%	農林業センサス 農林業経営体調査(2020年確定値) 北海道農林水産統計年報(令和5年) 十勝畜産統計(令和5年) 農林水産省・十勝総合振興局(令和5年度集計) 農林水産統計(令和4年) 十勝総合振興局(令和4年農協取扱高)
・ 耕 地 面 積	ha	254,500	1,141,000	22.3%	
・ 一戸当り耕地面積	〃	52.7	35.4	—	
・ 乳用牛飼育戸数	戸	1,110	5,380	20.6%	
・ 乳用牛飼育頭数	頭	244,287	842,700	29.0%	
・ 一戸当り乳用牛頭数	〃	220	157	—	
・ 肉用牛飼育戸数	戸	578	2,180	26.5%	
・ 肉用牛飼育頭数	頭	230,395	566,400	40.7%	
・ 一戸当り肉用牛頭数	〃	399	260	—	
・ 生 乳 生 産 量	百トン	12,599	41,788	30.1%	
・ 農 業 産 出 額	億円	3,494	12,919	27.0%	
耕 種	〃	1,330	5,384	24.7%	
畜 産	〃	2,164	7,535	28.7%	
4. 林 業					
・ 森 林 面 積	ha	689,137	5,537,208	12.4%	北海道林業統計(5.4.1)
・ 森 林 蓄 積 量	千m <sup>3</sup>	124,597	862,633	14.4%	
5. 漁 業					
・ 海面漁業漁獲量	百トン	921	11,509	8.0%	北海道水産現勢(令和4年:属地統計)
・ 漁業生産額	億円	79	3,182	2.5%	
6. 工 業					
・ 製造事業所数	事業所	494	6,423	7.7%	経済構造実態調査 製造業事業所調査(2023年)
・ 製造従業者数	人	12,619	164,811	7.7%	
・ 製造品出荷額等	億円	5,555	66,413	8.4%	
7. 金 融					
・ 預 金	億円	17,078	376,336	—	銀行、信用金庫、信用組合の計(6.3末) 銀行の全道分はゆうちょ銀行を含む
・ 貸 出 金	〃	8,706	159,944	—	
8. 地 方 財 政					
・ 歳 入	億円	2,691	38,785	6.9%	市町村普通会計決算(令和4年度)
・ 歳 出	〃	2,609	37,970	6.9%	

※下線は更新箇所



## 【 と か ち 経 済 の 概 況 】

### 管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

#### 【総括判断】

観光は、持ち直しの動きに一服感がみられるほか、住宅建設は、前年を下回っており、雇用情勢は、有効求人倍率が前年を下回っている。

一方で、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しているほか、生乳生産、公共事業は、前年を上回っている。

このように管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

#### 【総括判断の前回比較】

項 目	前回 6年4月～6月	今回 6年7月～9月	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	⇒

#### 【各項目の判断】

項 目	前回 6年4月～6月	今回 6年7月～9月	前回比較
生乳生産	前年同期並み	前年同期を上回る	↗
公共事業	前年度累計を上回る	前年度累計を上回る	⇒
住宅建設	前年同期を大幅に上回る	前年同期を下回る	↘
個人消費	緩やかに持ち直している	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに持ち直している	⇒
雇用情勢	有効求人倍率は前年を下回る	有効求人倍率は前年を下回る	⇒
観 光	持ち直しの動きに一服感がみられる	持ち直しの動きに一服感がみられる	⇒

#### 【参 考】

金 融	貸出金残高は前年並み	貸出金残高は前年並み
企業倒産	前年同期を上回る	負債総額は前年同期を上回る

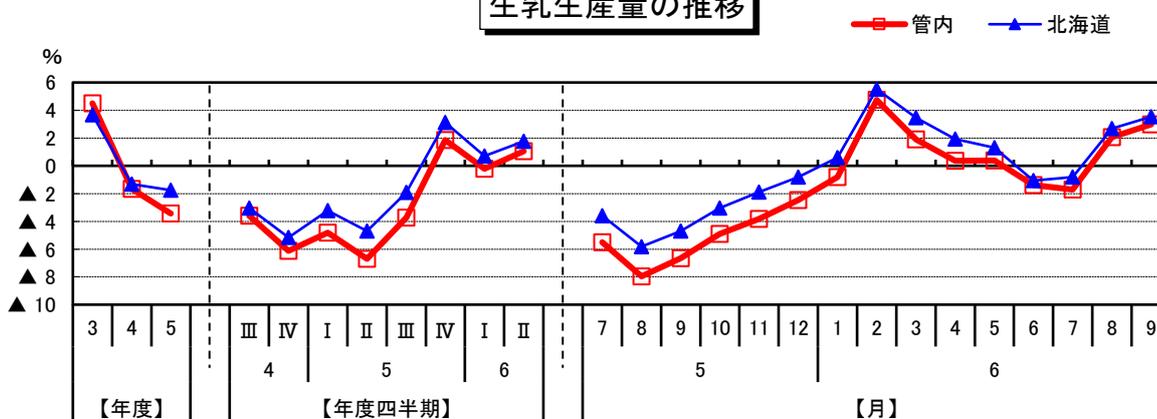
# 1. 生乳生産…前年同期を上回る

生乳生産量は、前年同期を上回っている。

生乳生産量 (単位:t、%)

年 月	生産量	前年比
3年度	1,326,869	4.5
4年度	1,304,861	▲ 1.7
5年度	1,259,914	▲ 3.4
5. 7~9	311,038	▲ 6.7
10~12	305,831	▲ 3.7
6. 1~3	317,001	1.8
4~6	325,362	▲ 0.2
7~9	314,298	1.0
6. 4	107,409	0.4
5	111,996	0.4
6	105,957	▲ 1.4
7	106,421	▲ 1.7
8	105,510	2.1
9	102,367	3.0

生乳生産量の推移



<資料：農林水産省、十勝総合振興局>

## 2. 公共事業…前年度累計を上回る

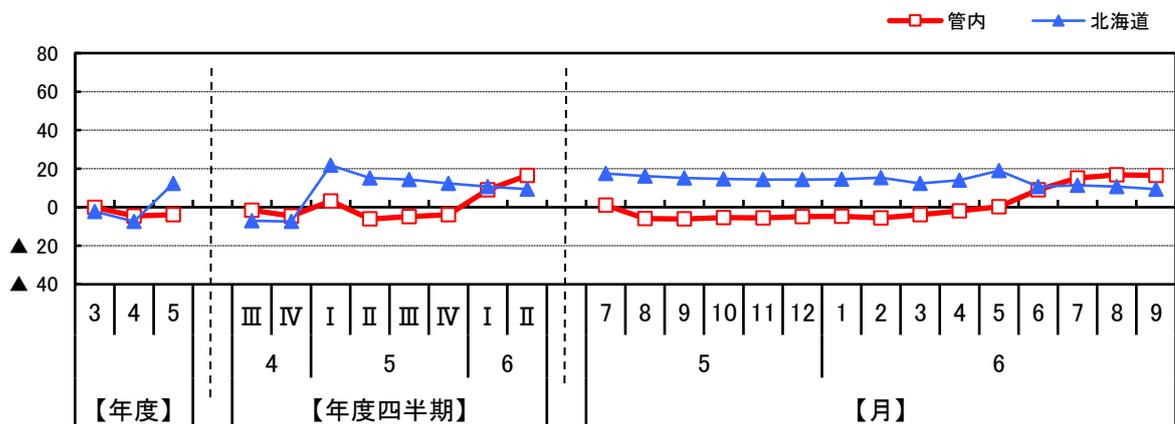
公共事業を前払金保証請負金額でみると、学校・病院等で増加したことから、前年度累計を上回っている。

前払金保証請負金額

(単位:百万円、%)

年月	月間	前年比	累計	前年比
3年度			65,398	▲ 0.0
4年度			62,452	▲ 4.5
5年度			60,041	▲ 3.9
5. 7~9	14,673	▲ 22.6	49,169	▲ 6.1
10~12	4,844	9.0	54,013	▲ 4.9
6. 1~3	6,028	6.8	60,041	▲ 3.9
4~6	37,591	9.0	37,591	9.0
7~9	19,674	34.1	57,265	16.5
6. 4	5,233	▲ 1.9	5,233	▲ 1.9
5	13,637	1.2	18,870	0.3
6	18,721	19.3	37,591	9.0
7	10,998	43.2	48,589	15.2
8	4,918	35.8	53,507	16.8
9	3,758	11.4	57,265	16.5

公共工事前払金保証請負金額推移(前年度累計比)



<資料：北海道建設業信用保証㈱>

### 3. 住宅建設…前年同期を下回る

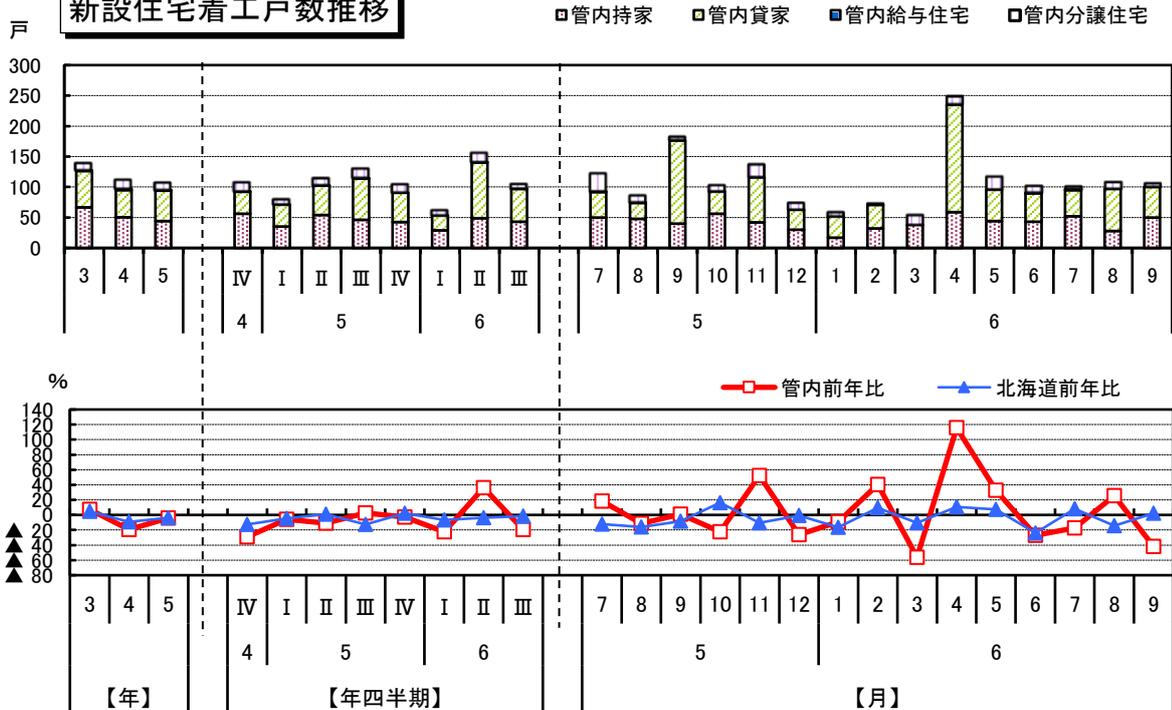
住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家ともに前年を下回ったことから、全体でも前年同期を下回っている。

新設住宅着工戸数(帯広市+3町)

(単位:戸、%)

年月	合計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	
3年	1,668	7.4	802	13.6	714	3.8	15	▲6.3	137	▲4.2
4年	1,343	▲19.5	608	▲24.2	532	▲25.5	27	80.0	176	28.5
5年	1,287	▲4.2	533	▲12.3	602	13.2	3	▲88.9	149	▲15.3
5. 7~9	390	2.6	138	▲17.9	204	32.5	2	100.0	46	▲19.3
10~12	314	▲2.8	128	▲24.3	144	33.3	-	全減	42	▲6.7
6. 1~3	186	▲22.5	87	▲17.1	74	▲32.1	-	-	25	▲3.8
r4~6	467	36.2	146	▲9.9	275	89.7	1	0.0	45	28.6
7~9	315	▲19.2	130	▲5.8	162	▲20.6	1	▲50.0	22	▲52.2
6. 4	248	115.7	59	13.5	176	282.6	-	-	13	▲23.5
5	117	33.0	44	▲4.3	52	48.6	-	-	21	200.0
r6	102	▲27.1	43	▲32.8	47	▲26.6	1	0.0	11	0.0
7	101	▲17.2	52	4.0	43	2.4	1	0.0	5	▲82.8
8	108	25.6	28	▲41.7	69	165.4	-	全減	11	0.0
9	106	▲41.8	50	25.0	50	▲63.2	-	-	6	0.0

新設住宅着工戸数推移



(注) 年、四半期の戸数は月平均。

<資料: 国土交通省、音更町、幕別町、芽室町>

#### 4. 個人消費…一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している

主要小売店売上高は、飲食料品は前年を上回っているものの、衣料品が前年を大幅に下回っていることから、全体では前年同期を下回っている。

乗用車販売（新車登録・届出台数）は、前年を下回っている。

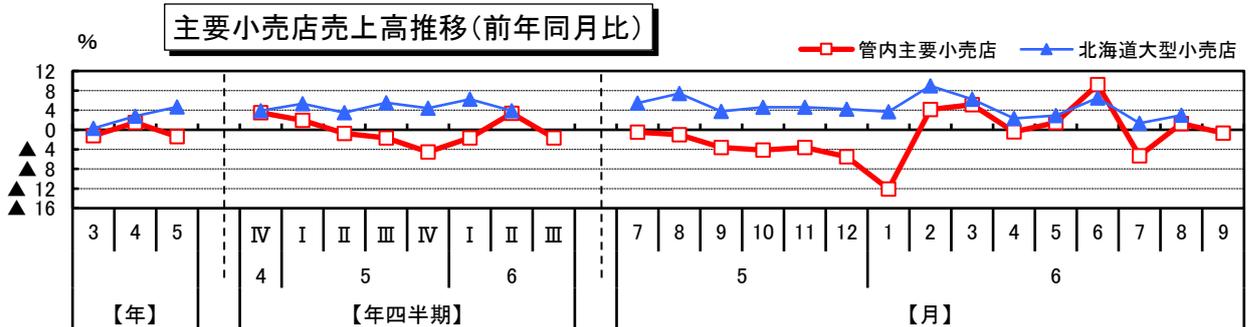
このように、個人消費は一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

#### 個人消費

(単位:台、%)

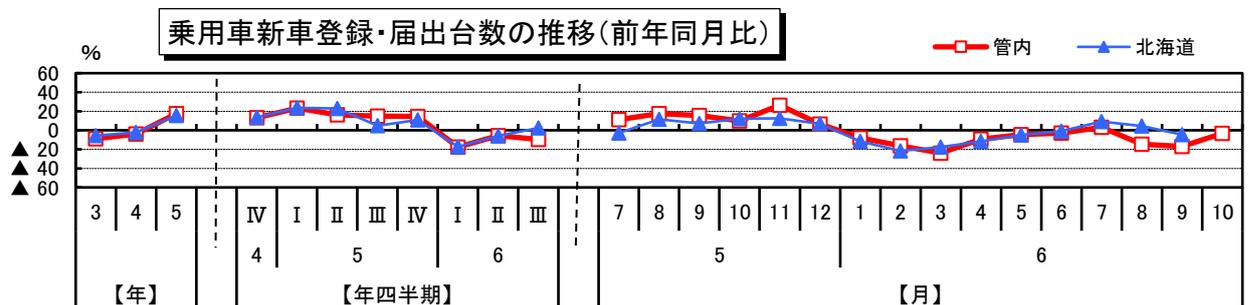
年月	主要小売店売上高			乗用車新車登録・届出台数							
	前年比			計		普通		小型		軽	
	合計	飲食料品	衣料品	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比
3年	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 0.7	8,893	▲ 8.8	3,263	0.4	2,427	▲ 18.9	3,203	▲ 8.7
4年	1.5	1.8	4.5	8,548	▲ 3.9	3,116	▲ 4.5	2,315	▲ 4.6	3,117	▲ 2.7
5年	▲ 1.4	1.9	▲ 18.9	10,039	17.4	4,277	37.3	2,446	5.7	3,316	6.4
5. 7~9	▲ 1.7	2.2	▲ 25.5	2,456	14.8	977	14.3	637	25.1	842	8.5
10~12	▲ 4.5	0.3	▲ 31.5	2,329	14.6	997	35.5	527	▲ 3.5	805	7.2
6. 1~3	▲ 1.7	2.0	▲ 22.1	2,437	▲ 17.6	1,008	▲ 25.2	575	▲ 13.7	854	▲ 9.4
4~6	3.4	2.4	8.1	2,170	▲ 5.5	957	0.2	519	▲ 15.7	694	▲ 4.4
7~9	▲ 1.6	0.8	▲ 16.6	2,217	▲ 9.7	898	▲ 8.1	542	▲ 14.9	777	▲ 7.7
6. 4	▲ 0.4	▲ 0.8	2.0	660	▲ 9.2	281	▲ 10.8	158	▲ 16.4	221	▲ 0.9
5	1.5	0.8	10.3	711	▲ 4.7	310	10.7	158	▲ 21.8	243	▲ 8.0
6	9.2	7.6	11.7	799	▲ 3.0	366	1.7	203	▲ 9.8	230	▲ 3.8
7	▲ 5.3	▲ 2.4	▲ 24.7	831	3.2	351	0.3	194	▲ 8.5	286	17.7
8	1.3	3.3	▲ 12.2	579	▲ 14.6	229	▲ 11.6	157	▲ 6.0	193	▲ 23.4
9	▲ 0.7	1.6	▲ 10.3	807	▲ 17.1	318	▲ 13.6	191	▲ 26.0	298	▲ 14.1
10				812	▲ 3.1	362	4.0	177	▲ 11.1	273	▲ 6.2

(注) 主要小売店売上高について、令和5年2月以降対象先が1社減、令和5年8月以降対象先が1社減、令和6年7月以降対象先が1社減となったため、以前の数値とは連続性がない。



(注) 管内は主要小売店。北海道は百貨店と大型スーパーの合計（全店ベース）で、直近月は速報値。

<資料：北海道経済産業局、管内主要小売店>



<資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、帯広自動車販売店協会>

## 5. 雇用情勢…有効求人倍率は前年を下回る

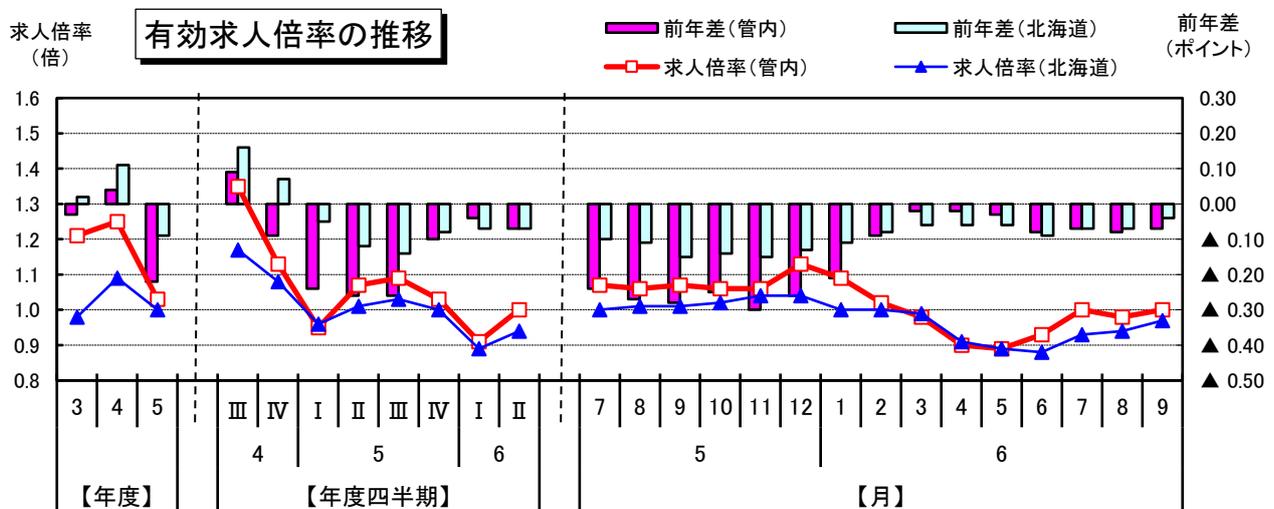
雇用情勢（パートを含む常用）をみると、月間有効求職者数は前年並みだったものの、月間有効求人数が前年を下回ったことから、有効求人倍率は前年を下回っている。

職業紹介状況

(単位：人、%、倍、ポイント)

年 月	一般（パートを含む常用）											新規高卒者 就職内定状況		
	新規求職申込件数	新規求人数			月間有効求職者数	月間有効求人数		有効求人倍率	前年差	(内定率)	前年差			
		前年比	前年比	うちパート 前年比		前年比	前年比							
3年度	11,462	4.1	24,998	3.5	7,072	▲ 2.8	58,207	7.2	70,422	4.8	1.21	▲ 0.03	100.0	0.3
4年度	12,249	6.9	26,037	4.2	7,275	2.9	60,263	3.5	75,145	6.7	1.25	0.04	99.8	▲ 0.2
5年度	12,193	▲ 0.5	22,441	▲ 13.8	6,506	▲ 10.6	62,134	3.1	64,034	▲ 14.8	1.03	▲ 0.22	99.0	▲ 0.8
5. 7～9	2,665	1.3	5,566	▲ 18.2	1,654	▲ 10.2	15,330	3.3	16,383	▲ 17.2	1.07	▲ 0.26	45.0	▲ 0.4
10～12	2,605	2.5	5,614	▲ 13.0	1,542	▲ 8.5	14,789	4.6	16,053	▲ 16.0	1.09	▲ 0.26	87.4	▲ 7.5
6. 1～3	3,336	▲ 4.9	5,470	▲ 7.9	1,622	▲ 9.8	15,244	2.1	15,654	▲ 7.2	1.03	▲ 0.10	99.0	▲ 0.8
4～6	3,504	▲ 2.3	5,200	▲ 10.2	1,375	▲ 18.5	16,669	▲ 0.6	15,106	▲ 5.3	0.91	▲ 0.04	-	-
7～9	2,499	▲ 6.2	5,250	▲ 5.7	1,524	▲ 7.9	15,253	▲ 0.5	15,177	▲ 7.4	1.00	▲ 0.07	44.2	▲ 0.8
6. 4	1,555	0.4	1,713	▲ 7.1	452	▲ 11.2	5,638	▲ 1.5	5,072	▲ 4.1	0.90	▲ 0.02	-	-
5	1,079	▲ 4.3	1,751	▲ 8.7	454	▲ 22.9	5,625	0.1	5,024	▲ 3.1	0.89	▲ 0.03	-	-
6	870	▲ 4.5	1,736	▲ 14.5	469	▲ 20.5	5,406	▲ 0.3	5,010	▲ 8.4	0.93	▲ 0.08	-	-
7	873	▲ 1.4	1,866	1.6	542	3.6	5,085	▲ 1.2	5,104	▲ 7.4	1.00	▲ 0.07	-	-
8	820	▲ 10.3	1,653	▲ 7.9	467	▲ 15.2	5,108	▲ 0.1	5,021	▲ 7.6	0.98	▲ 0.08	-	-
9	806	▲ 6.9	1,731	▲ 10.5	515	▲ 11.2	5,060	▲ 0.1	5,052	▲ 7.1	1.00	▲ 0.07	44.2	▲ 0.8

(注) 新規高卒者就職内定状況の年度欄は各3月末の計数、四半期欄は各期末の計数。



<資料：帯広公共職業安定所>



## 7. 金融…貸出金残高は前年並み

金融機関の貸出金残高（銀行・信用金庫・信用組合ベース）をみると、事業者向け、個人向けは前年を上回っているものの、地方公共団体向けが前年を下回っていることから、全体では前年並みとなっている。

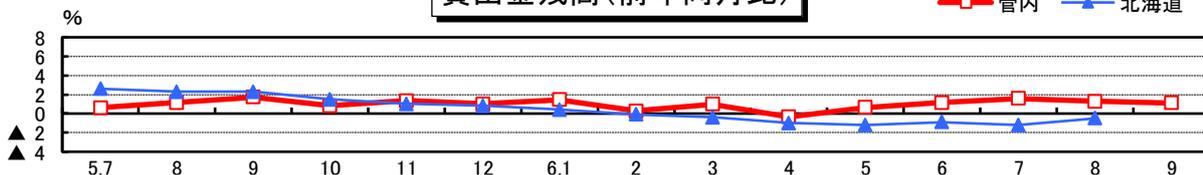
### 金融

（単位：百万円、％）

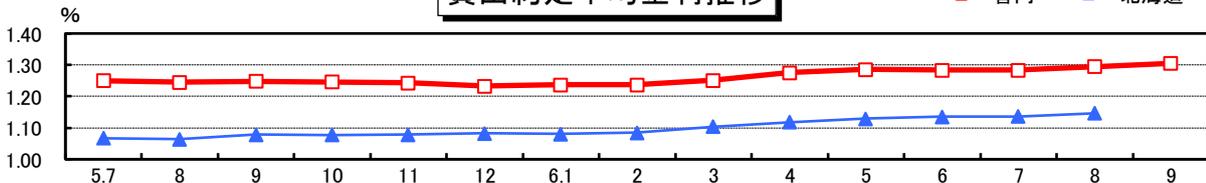
年 月	貸出金残高		事業者向け貸出				個人		地方公共団体			
		前年比		前年比	設備	前年比	運転	前年比		前年比		
3. 9 末	834,932	2.3	495,715	2.0	192,332	1.8	303,383	2.2	267,520	3.4	71,694	0.1
4. 9 末	845,297	1.2	496,983	0.3	197,220	2.5	299,763	▲ 1.2	275,913	3.1	72,396	1.0
5. 9 末	859,727	1.7	504,086	1.4	207,074	5.0	297,012	▲ 0.9	283,751	2.8	71,888	▲ 0.7
6. 4 末	848,356	▲ 0.4	491,277	▲ 1.5	210,405	3.8	280,872	▲ 5.1	287,261	2.5	69,813	▲ 3.7
5 末	847,806	0.6	486,324	▲ 0.4	210,346	4.3	275,978	▲ 3.8	288,071	2.5	73,404	0.7
6 末	854,731	1.1	494,440	0.7	211,713	4.7	282,727	▲ 2.1	287,974	2.4	72,310	▲ 0.7
7 末	858,210	1.6	496,843	1.8	211,510	4.9	285,333	▲ 0.4	288,051	2.4	73,310	▲ 2.6
8 末	861,127	1.3	499,229	1.3	212,383	5.3	286,846	▲ 1.5	288,685	2.2	73,205	▲ 2.2
9 末	869,341	1.1	511,653	1.5	211,462	2.1	300,191	1.1	289,319	2.0	68,363	▲ 4.9

年 月	預金残高		要求払		定期性		貸出約定平均金利
		前年比		前年比		前年比	
3. 9 末	1,651,408	5.7	1,119,826	8.8	528,413	▲ 0.1	1.252
4. 9 末	1,691,767	2.4	1,169,104	4.4	519,680	▲ 1.7	1.243
5. 9 末	1,713,734	1.3	1,206,642	3.2	504,172	▲ 3.0	1.248
6. 4 末	1,735,271	0.3	1,246,573	1.9	486,641	▲ 3.3	1.275
5 末	1,713,859	0.4	1,222,194	2.0	489,629	▲ 3.3	1.286
6 末	1,748,605	1.4	1,256,714	3.5	489,831	▲ 3.5	1.283
7 末	1,730,450	1.2	1,238,282	3.1	490,015	▲ 3.1	1.283
8 末	1,728,929	1.0	1,241,331	2.9	485,476	▲ 3.5	1.295
9 末	1,718,104	0.3	1,233,519	2.2	482,520	▲ 4.3	1.305

貸出金残高(前年同月比)



貸出約定平均金利推移



(注1) グラフは、管内・北海道とも銀行・信用金庫・信用組合ベース。

(注2) 「貸出約定平均金利」の基礎データには、制度融資に関する金利データが含まれており、地方公共団体から受け取る利子補給分について、算定可能な限り、これを含めている。

## 8. 企業倒産…負債総額は前年同期を上回る

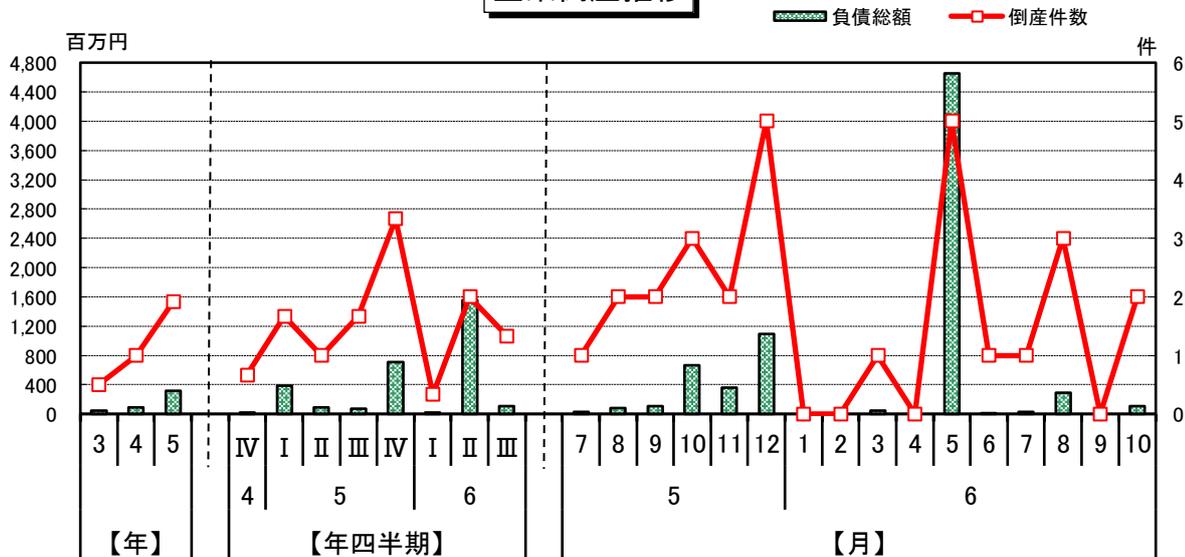
企業倒産は、件数は前年同期を下回っているものの、負債総額は前年同期を上回っている。

企業倒産(負債総額1千万円以上)

(単位:件、百万円、%)

年月	件数	前年比	建設業	製造業	卸・小売業	運輸・通信業	サービス業	その他	負債総額	
										前年比
3年	6	▲ 50.0	-	3	-	-	2	1	539	▲ 70.4
4年	12	100.0	3	1	-	2	4	2	1,069	98.3
5年	23	91.7	2	4	6	-	9	2	3,748	250.6
5. 7~9	5	150.0	-	2	1	-	2	-	220	5.8
10~12	10	400.0	2	1	3	-	2	2	2,115	3,104.5
6. 1~3	1	▲ 80.0	-	-	-	-	1	-	50	▲ 95.6
4~6	6	100.0	-	-	1	-	2	3	4,661	1,658.9
7~9	4	▲ 20.0	1	-	1	-	2	-	315	43.2
6. 4	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
5	5	150.0	-	-	1	-	1	3	4,649	5,937.7
6	1	全増	-	-	-	-	1	-	12	全増
7	1	-	-	-	-	-	1	-	27	▲ 10.0
8	3	50.0	1	-	1	-	1	-	288	260.0
9	-	全減	-	-	-	-	-	-	-	全減
10	2	▲ 33.3	1	-	1	-	-	-	108	▲ 83.7

### 企業倒産推移



(注) 年、四半期は月平均。

<資料: (株)東京商工リサーチ>

## 企業・関係団体の生の声

### 【個人消費】

- ・米不足により米の単価が上昇しており、販売点数も増え売上が伸びている。パックごはんや米の代わりとなるパスタなども伸長している。(食料品スーパー)
- ・節約志向の高まりから特売品を中心とした買い回りの傾向が強まっており、客単価が低下した。(食料品スーパー)
- ・昨年のような猛暑・残暑がなく、平年に近い気温で推移したため、秋物衣料の動きは順調だったほか、夏のボーナス増加の追い風により、宝飾・宝石・高額ブランドが好調だった。(大型小売店)
- ・エアコンについて、前年に猛暑の影響で大きく販売を伸ばした反動のほか、暑さに備えた4-6月期の販売増による反動に加え、昨年ほどの暑さがなかったことも影響し、販売が大きく落ち込んでいる。(家電量販店)
- ・物価高騰の影響を受け、いま必要のないものの購入は後回しにする傾向があるほか、小物家電などでは低価格商品が売れている。一方で、テレビの販売が全体的に苦戦する中で、大型の有機ELテレビなどの高額商品への需要も一定数あるなど、必要なものにはお金を出すといった動きも一定数みられる。(家電量販店)
- ・7月は受注残が登録されたため前年を上回っているが、8-9月は認証不正問題の影響が現れており、前年を大きく下回った。(一般社団法人)
- ・物価高のあおりを受けて、軽自動車や小型乗用車を求める傾向がある。(一般社団法人)

### 【観光】

- ・昨年の7月、8月には国際農機展やU15サッカーインターハイといった大きなイベントがあったため、今期は反動減がみられたほか、物価やガソリン代の上昇により、日帰りで行ける範囲の行楽施設で休日を過ごす傾向があり、宿泊者数が減少している。(一般社団法人)
- ・円安の影響もあってか、インバウンドが増加傾向にある。(一般社団法人)
- ・8月のチャーター便数が過去最多となっており、また、9月はコロナ禍以前ぶりとなる国際チャーター便が運航した。(その他サービス業)
- ・物価高の影響で、宿泊料金が高くてもユーザーが受け入れるようになってきている。(宿泊業)
- ・宿泊単価を上げて質を向上させ、お客様満足度向上を図る戦略が成功している。(宿泊業)

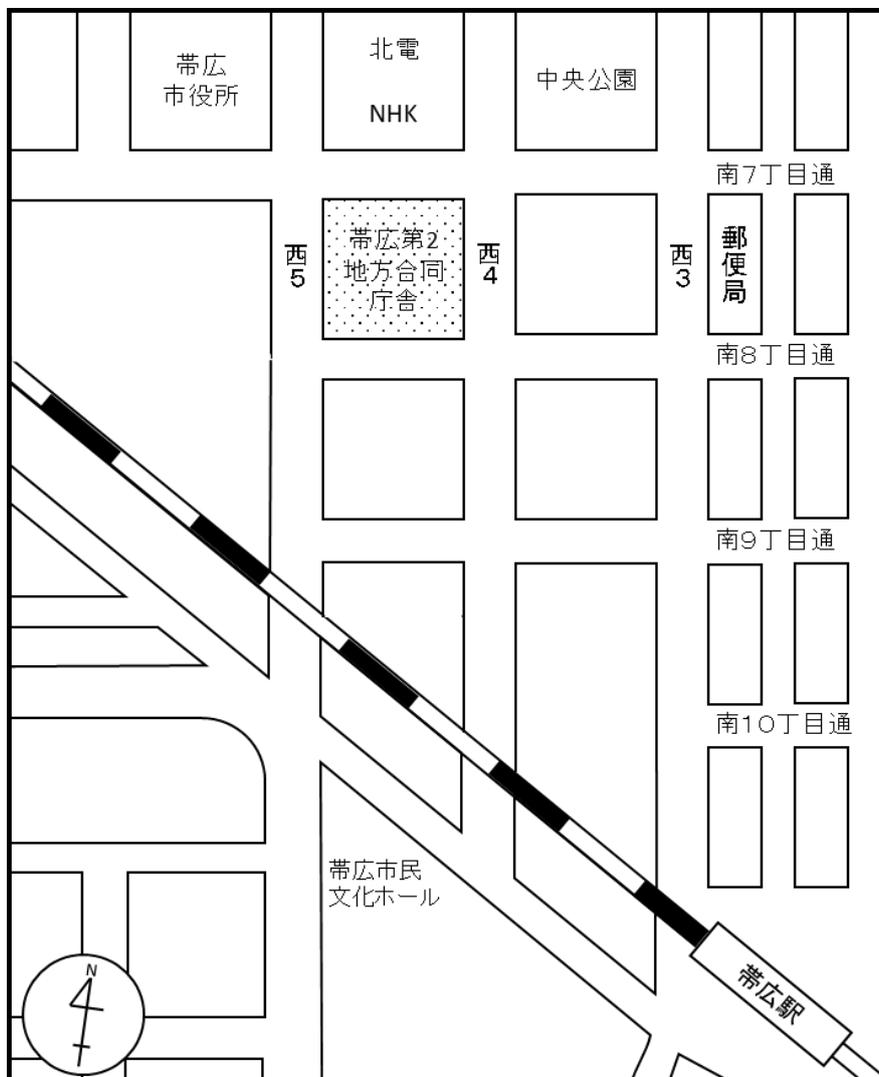
### 【住宅建設】

- ・資材価格や労務単価の上昇により建物価格が上がっているほか、土地価格が高止まっていることに加え、住宅ローン金利の先高観から持家の着工戸数は減少しており、店舗への来店客数も減っている。(建設業)
- ・モデルハウスのイベント会場への来場者数は激減している。一方で、中古住宅の販売は堅調で、リフォーム・リノベーション需要が増えている。(建設業)

### 【雇用】

- ・物価上昇や最低賃金引き上げによる人件費の上昇に伴い、求人を出し控えている企業があるほか、民間求人会社など他の求人媒体を活用する動きもあり、求人における企業の選択肢が増えている。(公的機関)
- ・人手不足の状況は変わらず、特に新卒採用が厳しい。就職を志す高校生の数も減り、取り合いの状態にある。地方に行けば行くほどパートの採用にも苦戦している。(食料品スーパー)
- ・大型案件の受注が増える中、人材が不足しており、札幌圏の協力会社から人材を派遣してもらっているが、宿泊費などのコスト負担により収益性は悪化している。(建設業)

本誌に関するご意見、ご要望はお気軽に  
下記までお寄せ下さい。



帯広財務事務所 財務課

〒080-0015

帯広市西5条南8丁目

帯広第2地方合同庁舎

TEL 0155(25)6381

ご意見・ご要望はこちらへお寄せ下さい。

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/mailform/hokkaido.php>